



～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～



発行元：地域包括ケア病棟・リハビリ科・地域医療連携室

## 地域包括ケア病棟とは

地域包括ケア病棟は、平成26年の診療報酬改正で新設され、当院では同年8月より運用を開始しています。地域包括ケア病棟の役割のひとつには、地域からの受け入れが挙げられており、在宅から受け入れすることで疾病の重症化を避け、住み慣れた地域で住み続けることが可能となります。

### 当院の地域包括ケア病棟で受け入れ可能な方について (地域からの受け入れ)

1. 痰の吸引、点滴などの医療的処置が必要なため、介護施設でのショートステイの利用が困難な方（メディカルレスパイト）
2. 短期集中リハビリテーションが必要な方（入院期間は2～3週間）
3. 摂食嚥下機能評価を希望される方
4. 痰の吸引方法など、ご家族への指導が必要な方
5. CKD（慢性腎臓病）教育入院
6. **糖尿病患者様 食事体験入院**  
(2月から受け入れを開始しました)

詳細は裏面をご覧ください。



栄養管理室の管理栄養士

#### 問い合わせ先

地域医療連携室（担当：中嶋・南出）

Tel：0774-72-0235

E-mail: ti0001@yamashiro-hp.jp

※バックナンバーは、当院ホームページから閲覧できます。[「トップページのご利用者への案内」](#) → [「入院案内」](#) → [「地域包括ケア病棟の御案内」](#)

## 糖尿病患者様の食事体験入院開始のお知らせ

対象の患者様がおられましたらご紹介下さい。

2月より地域包括ケア病棟で糖尿病患者様の食事体験入院が開始となりました。対象となる患者さんがおられましたらご紹介下さいますようお願いいたします。この体験入院は、地域包括ケア病棟運営委員会の委員としてご協力頂いている吉村陽先生からご提案頂き、また、開始に至るまでもご助言を頂きました。(地域医療連携室 係長 南出 弦)

### ・対象となる方

糖尿病の診断を受けており、糖尿病食を体験する必要がある患者様

### ・ご入院期間

3泊4日

### ・入院中の検査について

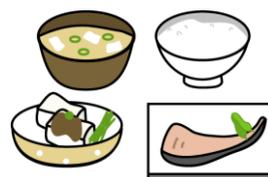
採血、管理栄養士による栄養指導、血糖測定、糖尿病教室(毎週水曜日実施)、頸動脈エコー、ABI、自律神経機能検査(CVRR)

### ・費用について

医療保険の一部負担金が発生します。1割のご負担の患者様は約17,000円、3割のご負担の患者様は約43,000円となります(食事代込み)。個室をご希望の患者様は別途、個室料金がかかります。

### ・申し込み先、問い合わせ先

地域医療連携室(担当:中嶋・南出)までご連絡下さい。



## 地域医療連携室から

退院支援看護師が配置となりました。どうぞよろしくお願ひします。

はじめまして。2月より地域医療連携室に配置となりました。当院には平成11年に入職し、主に外科系病棟で勤務した後、平成22年より外来看護師として勤務していました。私が当院に入職してから現在に至るまでの間、急性期病院の平均在院日数の短縮や多職種での退院支援、この地域(東部地域)の人口減少と高齢化率の上昇など、当院を取り巻く医療と地域の状況は刻々と変化していることを実感しています。

皆様もご存知のように、住み慣れた地域で住み続けることを目的とした“地域包括ケアシステム”の推進は加速しています。医療依存度が高い患者さんがご自身の住み慣れた地域にお戻りいただくためには、特に地域の皆様との連携は欠かすことができません。患者さんやご家族の思いを一番身近に感じておられる地域の皆様と連携し、顔の見える関係作りが構築できればと思っています。

微力ながら当院と地域との架け橋として役割を果たせたらと思っていますので、よろしくお願ひします。(退院支援看護師 豊島 邦代)

